

# ひなたぼっこ通信

2018年  
12月号

放課後等デイ 新築開所式開かれる十二月一日

富士見町や原村から、多くの関係諸機関の皆様や保護者の皆様に出席いただき、新築なった放課後等デイサービスの「新築開所式」を行いました。富士見町や原村から、多くの関係諸機関の方がお祝いに駆けつけてくださいました。地域の方々や保護者の方々も大勢来てくださり、一時は用意した椅子が足りなくなるほどの盛況でした。

保護者の代表の方が「はじめはウソだろうと思っただが、こんなに早く、こんなに立派な建物が建って、ひなたぼっこの本気を感じた。」と、言っ

てくださいました。行政や議会からお祝いに来てくださった方々からは、今後一層の協力と支援をの言葉

を頂きました。そうした期待にこたえられるように、私達も努力をしていくつもりです。



## ケアハウスから

「やっぱり気になるのは紅葉より食事ですね」1階

十月下旬より紅葉狩りツアーが始まりました。利用者様は、時間より早く玄関に集まり、今か今かと、車の準備を待っておられました。待つこと数十分、やっと準備も整って夢科湖に向かって出発しました。数々の紅葉の風景に目を奪われながら、談話にも花が咲きました。

「白樺の木ってなんでかこの辺多いよねー、使い道のない木なのにどうするんだろうねー。」と職員が言うところ利用者様が、

「この世に不必要なものはないんだよ、白樺の木だって村の風よけに、と教えてくださいました。

そんなお話をしながら夢科湖に到着。今年のツアーはいい天気に恵まれました。暖かい中散歩する皆さんはいつもより無口で、景色を堪能していました。でもやっぱり花より団子ですね。ホテルでの食事の時が、皆さん一番いい笑顔でした。(か)



## 「秋の行事」2階

十月中旬から月末に紅葉狩りと外食に行きました。そこで行かれた方々に

お話を聞いてみました。すると、こんなお話を聞くことができました。

Aさん「紅葉がとても綺麗だったわ。最初に行かせてもらって申し訳ないくらい。」

「ご飯はあんなもなかさ〜」  
Bさん「息子がそば打ちをしていて今日の蕎麦も息子が打ってくれて美味しかったわ」

実際には息子さんが打った物ではありませんが、きつと息子様を思い出しながら召し上がったんですね。

Cさん「行ってないわよ」

紅葉狩りも外食も行ったはずなのに・・・頭のタンスにしまい込んだんでしょうね。いつかきつとタンスが開いた時に思い出して話してくれると思います。

毎月二回買い物ツアーも実施しております。主に買って来られるのは「果物、嗜好品」です。中には施設の食事を止めてお昼、夕食を好きな物を買って召し上がる利用者もいらっしゃいます。二週間毎に行きますが冷蔵庫が淋しくなると、「次はいつですか？冷蔵庫が空っぽよ」と楽しみにされておられます。

次回のお出掛け行事は春のお花見です。これから寒い冬になりますが、春を楽しみに体調を崩さず過ごしましょう。(こ)



## 宅幼老所から

「文化祭見学」

11月2日～4日に向け、富士見町の文化祭が開催されました。宅幼老所からも様々な作品を展示させていただきました。皆さんがコツコツ作った季節の制作や、ぬり絵に書道。多くのご利用者様に見ていただきたいと思い、希望される方には出来る限りお出かけいただきました。

宅幼老所以外からの作品も数多く展示されており、「ご利用者様からは「すごいね!」「あんな作品を作ってみたね!」など、皆さんとても感動されていました!

見学へ行かれたご利用者様にはとても良い刺激になり、たくさん笑顔と楽しそうな表情を見せて下さいました。また来年もお楽しみに!



## グループホームから

「文化祭見学」1階

グループホームの利用者様と一緒に富士見町の文化祭に出かけました。利

用様にとって、文化祭は毎年作品を出品したり、

見学に行ったりと、年間行事の中でも大きなイベントの一つになっています。

また今年は、8人乗りの車を借りために、ピストン運転での往復もなく、ゆっくり見学する事が出来ました。

文化祭の会場については、ある利用者の方は、作品のタイトルを1つ1つ読み上げながら作品をゆっくり見学されていきました。また、自分達の作品の前に来られると、やはり自分の作品には皆さんそれぞれに愛着や親しみがおありのようです。自然とみんなが集まり記念撮影が行われました。

展示の中には編み物などもあり、編み物をされていた利用者の方に、

「来年はマフラーを完成させて是非展示しましょう。」

とご提案すると、「そうね・・・」と笑顔で答えて下さいました。

更に行く、菊の花の盆栽(?)がありました。そこに立ち止まられて、「本当に綺麗ね」と何度も言われて感心されている利用者様もいらっしゃいました。

更に更に、機織り機の体験をやっている所を通りかかると、「もう少し近くに寄ってくれる...貴



重な物を見せてもらった」と大満足のご様子でした。

そして最後に、紅葉狩りに来ている様な不思議な空間で写真を撮りました。みなさん良い作品を沢山見て来られた事で頬の筋肉が緩んでいらしたからか、笑顔での記念撮影が一発でOKとなりました。

来年がまた楽しみですね。

## 編集後記

また1年を振り返る12月がやってきました。夏から秋にかけての自然災害が多くの方の記憶に残っているのではないのでしょうか。今までクーラーいらずと思われていた富士見高原でも、クーラーなしでは耐えられない暑さがありました。農作物も大きな被害があって、特に高原野菜の被害が大きかったと聞きました。

9月には相次ぐ台風で、多くのところで停電が発生しました。ケアハウスでも停電の影響で多くの利用者様にご不便をおかけすることになってしまいました。自然災害の多いこの国での備えを、改めて考えさせられた1年だったように思います。



理事長 森 正明

T 399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336